

食品の安全性に関するアンケート調査結果

生活衛生課

1 調査目的

県では、県民の皆さまの健康で安心できる食生活を確保するため、「岐阜県食品安全基本計画」に基づき、必要な施策を実施しています。

このことについて、県民の皆さまの意識や意向を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象：県政モニター573人(うちインターネットモニター331人)

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：平成31年1月21日～2月4日

回収結果：423人(回収率73.8%)

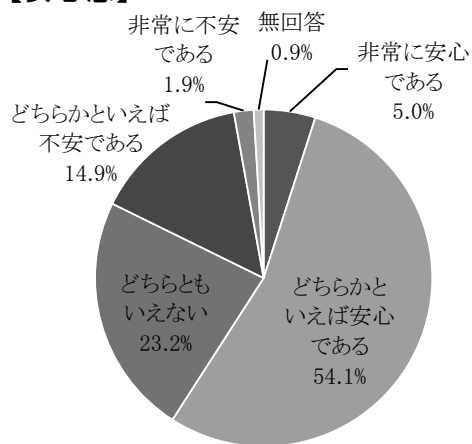
構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

そのため、合計が100%にならない場合があります。

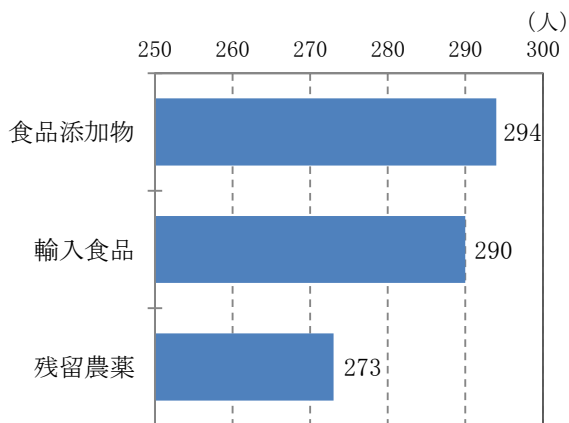
3 結果概要

○ 食品への安心感について

【安心感】

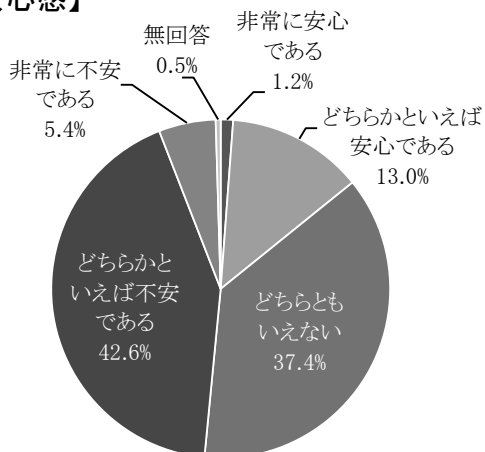


【不安に感じる事項】(※上位3つ)

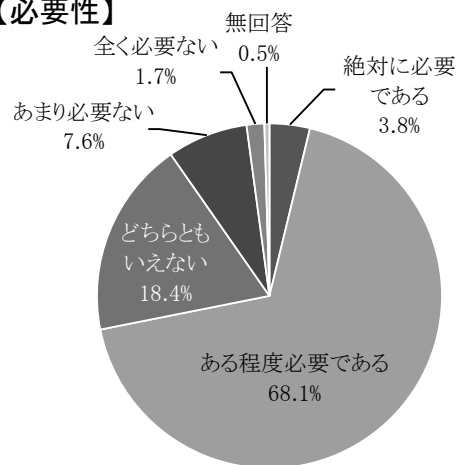


○ 農薬について

【安心感】



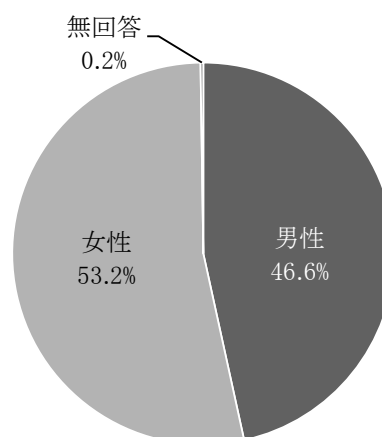
【必要性】



4 回答者属性

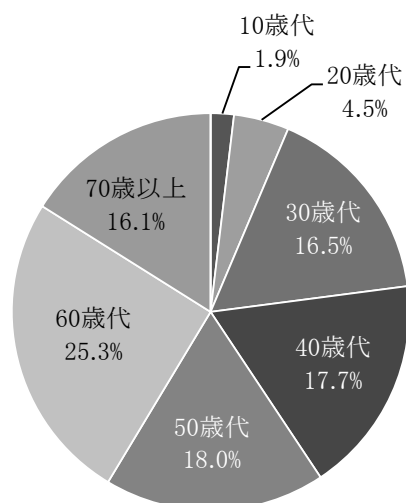
(1) 性別

	人数	割合
男性	197	46.6%
女性	225	53.2%
無回答	1	0.2%
計	423	100.0%



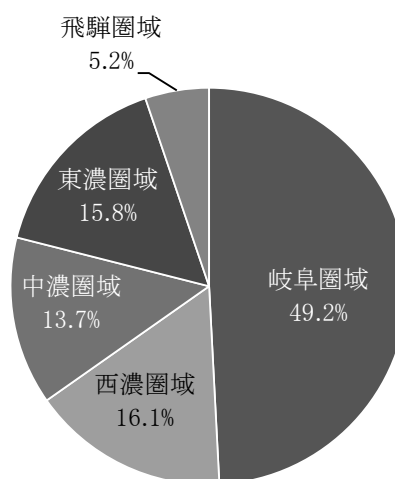
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	8	1.9%
20歳代	19	4.5%
30歳代	70	16.5%
40歳代	75	17.7%
50歳代	76	18.0%
60歳代	107	25.3%
70歳以上	68	16.1%
無回答	0	0.0%
計	423	100.0%



(3) 居住圏域別

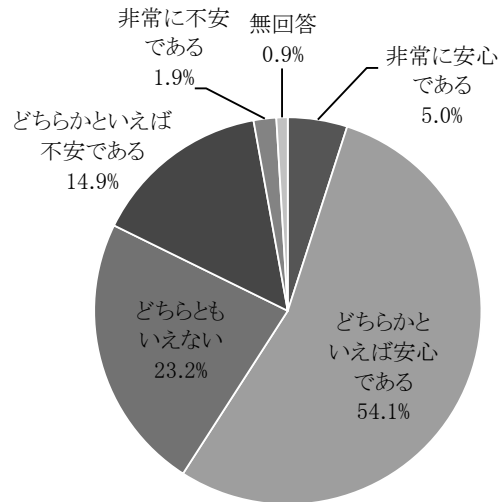
	人数	割合
岐阜圏域	208	49.2%
西濃圏域	68	16.1%
中濃圏域	58	13.7%
東濃圏域	67	15.8%
飛騨圏域	22	5.2%
無回答	0	0.0%
計	423	100.0%



5 調査結果

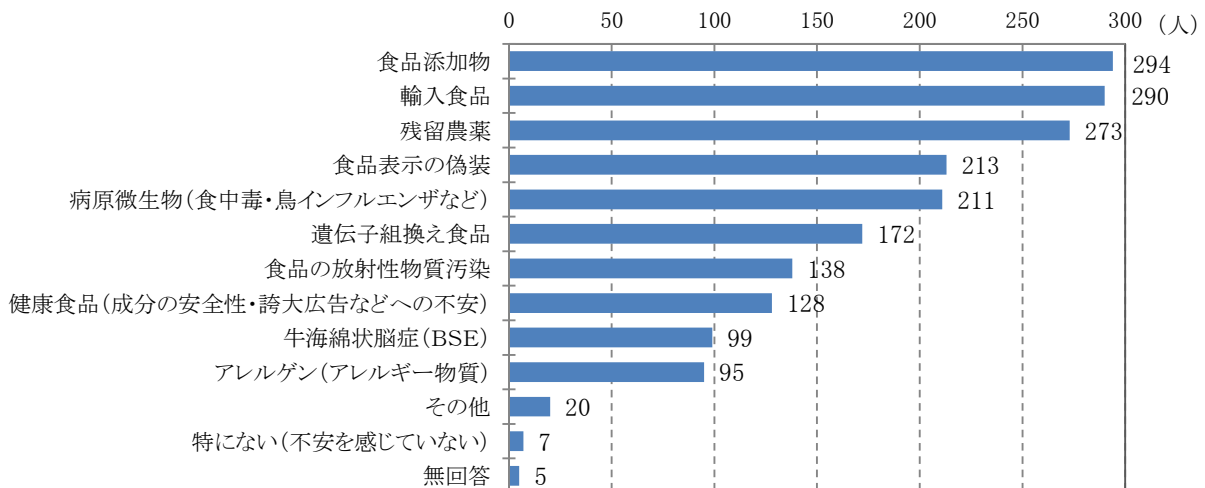
問1 あなたは、私たちが普段食べている食品について、どのように思っていますか。

	人数	割合
非常に安心である	21	5.0%
どちらかといえば安心である	229	54.1%
どちらともいえない	98	23.2%
どちらかといえば不安である	63	14.9%
非常に不安である	8	1.9%
無回答	4	0.9%
計	423	100.0%



問2 普段食べている食品の安全性について、あなたが不安に感じることは何ですか。
(複数回答) 回答者 423人

	回答数	割合
食品添加物	294	69.5%
輸入食品	290	68.6%
残留農薬	273	64.5%
食品表示の偽装	213	50.4%
病原微生物(食中毒・鳥インフルエンザなど)	211	49.9%
遺伝子組換え食品	172	40.7%
食品の放射性物質汚染	138	32.6%
健康食品(成分の安全性・誇大広告などへの不安)	128	30.3%
牛海綿状脳症(BSE)	99	23.4%
アレルゲン(アレルギー物質)	95	22.5%
その他	20	4.7%
特にない(不安を感じていない)	7	1.7%
無回答	5	1.2%
計	1,945	-

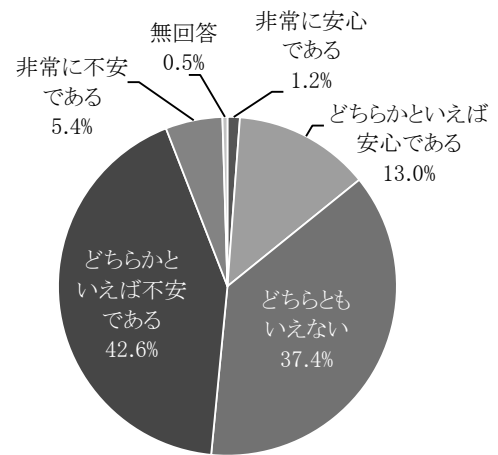


「その他」のうち主なもの

- ・魚がプラスチックごみに汚染されているのではないかとということ。
- ・加工食品に使用している食材の輸入先が不明
- ・豚コレラ

問3 あなたは、農薬を使用して作られた農作物について、どのように思っていますか。

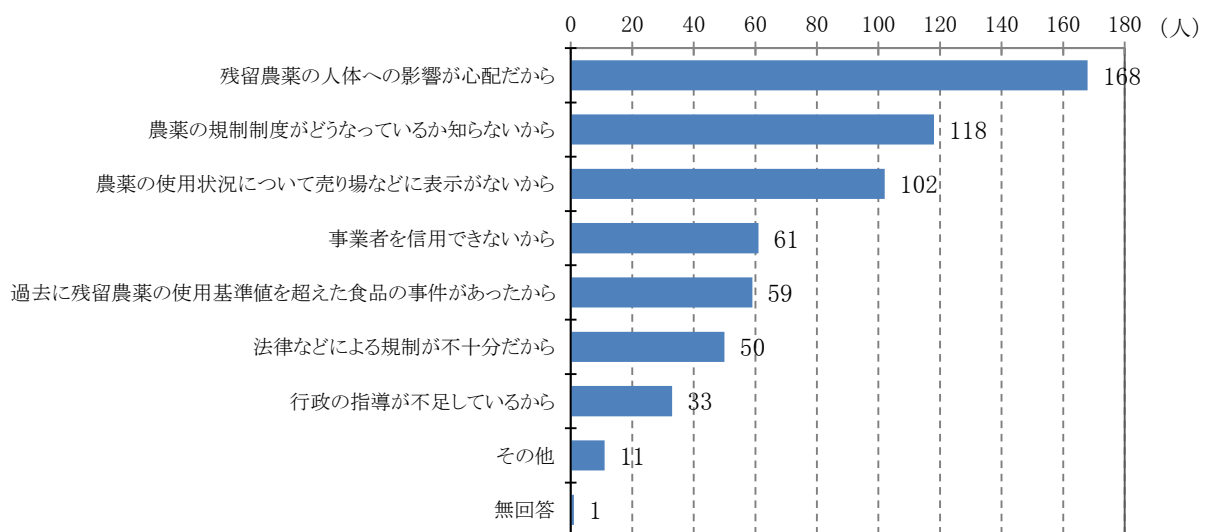
	人数	割合
非常に安心である	5	1.2%
どちらかといえば安心である	55	13.0%
どちらともいえない	158	37.4%
どちらかといえば不安である	180	42.6%
非常に不安である	23	5.4%
無回答	2	0.5%
計	423	100.0%



問4 (問3で「どちらかといえば不安である」又は「非常に不安である」と答えた方) あなたが、農薬を使用して作られた農作物に不安を感じている理由は何ですか。

(複数回答) 回答者 203 人

	回答数	割合
残留農薬の人体への影響が心配だから	168	82.8%
農薬の規制制度がどうなっているか知らないから	118	58.1%
農薬の使用状況について売り場などに表示がないから	102	50.2%
事業者を信用できないから	61	30.0%
過去に残留農薬の使用基準値を超えた食品の事件があったから	59	29.1%
法律などによる規制が不十分だから	50	24.6%
行政の指導が不足しているから	33	16.3%
その他	11	5.4%
無回答	1	0.5%
計	603	-

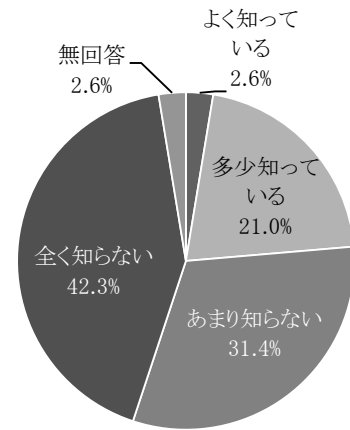


「その他」のうち主なもの

- ・日本の農薬は海外で使用禁止されているものも使われている。
- ・何が悪いのかはよく知らないが、体に良くないと聞くから。
- ・外国等での杜撰な管理による危険性

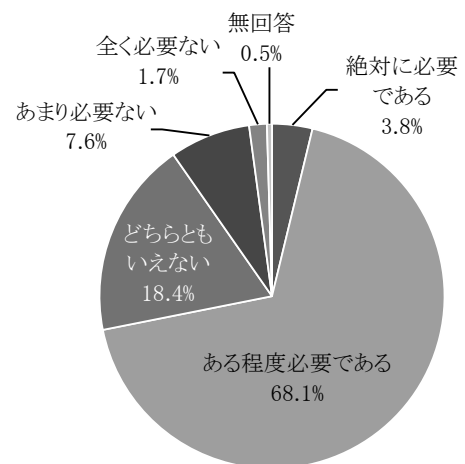
問5 あなたは、農薬について「一日許容摂取量（ADI）※」という考え方があることを知っていますか。

	人数	割合
よく知っている	11	2.6%
多少知っている	89	21.0%
あまり知らない	133	31.4%
全く知らない	179	42.3%
無回答	11	2.6%
計	423	100.0%



問6 あなたは、農業で農薬を使用することについて、どのように思っていますか。

	人数	割合
絶対に必要である	16	3.8%
ある程度必要である	288	68.1%
どちらともいえない	78	18.4%
あまり必要ない	32	7.6%
全く必要ない	7	1.7%
無回答	2	0.5%
計	423	100.0%



問7 その他、食品の安全に関する県の施策に対して、ご意見ご感想などございましたら、お聞かせください。(主な意見)

○県の食品安全施策について

- ・ 「岐阜県食品安全基本計画」に基づき、必要な施策とあるが、どのようなことを行っているのか、具体的にわからないし、残念ながら知りません。
- ・ 地元の食材は安いし信頼できるという消費者の期待に沿った施策を続けてほしいです。
- ・ 岐阜県のは絶対安心と思って食べられるよう嘘のない表示や指導をお願いします。
- ・ 有機栽培に力を注ぎ、地場の野菜を流通して欲しいと思います。
- ・ 身体に危害を与える農薬使用の検査方法を厳格に行うこと、行っていることの周知が大事だと思われまます。また、食品に使われている肉、野菜等が安全であるかの検査を厳重に行っていただきたい。
- ・ 偽装などが起こらないように、抜き打ち検査などを行って事業者には緊張感を保ってもらうようにして欲しいです。業者の責任感やコンプライアンスに期待するのは無策と同義だと思います。

○農薬について

- ・ 外国では厳しく禁止されている添加物や農薬が残念ながら日本では規制が緩いと聞きました。心配です。
- ・ 農薬もコントロールして使えば問題ないのではという気がします。
- ・ 農薬はある程度は仕方がないと思いますが、虫食いや見た目に厳しすぎて破棄されたりしてしまう野菜や果物を減らして、ぜひ道の駅やスーパーなどで少し価格を下げてでも売って欲しいです。きっとたくさんの方が買うと思います。
- ・ 使用した農薬、合成保存料を明示するようなシステムがあれば安心である。
- ・ ADIについて知らないなので、もっとPRして下さい。

○その他

- ・ 農業県の岐阜県、現在豚コレラで非常に心配です。関係者の方々、心痛・オーバーワークで対応してますが、早く沈静化されるといいなと思ってます。